

令和7年4月定例教育委員会会議録

日 時	令和7年4月16日（水）午後1時30分～午後3時00分	
場 所	扶桑町中央公民館 講義室1	
出席者	教育長	澤木貴美子
	教育長職務代理者	千田まち子
	教育委員	江口 夏世
	教育委員	千田 正仁
	教育委員	熊崎 規恭
	教育部長	仙田 剛宏
	学校教育課長	陸浦 裕司
	生涯学習課長	松原 薫
	学校教育担当主幹兼指導主事	
		寺谷 裕良
	学校教育担当統括主査兼指導主事	
		上田 勇人
議 題 及 び 結 果	2 協議事項	
	(1) 令和7年度4月要・準要保護児童生徒の認定について	承認
	(2) 当面の諸課題について	
	3 連絡事項	
	(1) 行事予定表について	
	4 その他	
	(1) 各小中学校の補助教材決定の報告	

令和7年4月定例教育委員会会議録

日時 令和7年4月16日（水）

午後1時30分

場所 扶桑町中央公民館 講義室1

1 あいさつ

発言者	発言の要旨
指導主事	令和7年4月定例教育委員会を始めます。1. あいさつということで教育長先生お願いします。
教育長	季節は「清明」、七十二候は「虹始見（にじはじめてあらわる）」で、雨上がりの春に虹が初めて出る頃ということでございます。人間を含めた生き物が一気に活動し始める季節ということですが、異常気象によって気温の上下が激しい気候で、この温度差になかなかついていけないと感じている今日この頃です。皆様はお元気なので大丈夫だと思いますけれども、今年度もよろしくお願いします。事務協の事務局担当もスタートしまして、4月4日の幹事に始まり、第1回事務協が終了したところでございます。本年度、千田委員さんが事務局の会長として、大きなお役目をしていただき、事務局としても精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。教育委員会の方には事務協事務局担当の職員として1名、扶桑町にお迎えして机を並べて一緒にやっております。よろしく申し上げます。そして、市町村教育委員会連合会の方には理事という形で江口委員さんに役を受けていただくということでそちらもよろしく申し上げます。では、本年度もよろしく申し上げます。

2 協議事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	それでは2. 協議事項に移ります。(1) 令和7年度4月要・準要保護児童生徒の認定についてということでお願いいたします。
教育課長	別紙1をご覧ください。令和7年度新1年生について、合計14名の児童が認定されております。続きまして、在校生について、合計7名の4月認定分です。合計21名で、3月の教育委員会にて報告しました児童92人、生徒54人合わせて児童113人、生徒54人となります。以上です。
指導主事	何かこの件に関して、ご意見ご質問等ございますか。ないようですので、この件に関しましてお認めいただけますか。
教育委員	はい。
指導主事	続きまして、(2) 当面の諸課題について、お願いいたします。
教育長	まず、今年度の在籍数になります。柏森小が747人、高雄小591人、山名小264人、扶桑東小347人、扶桑中543人、扶桑北中4

<p>指導主事 教育委員</p>	<p>19人で、合計2840人の小中学生が資料7にある通り、在籍しています。扶桑東小だけプラス2人で、あとは少しずつ減少ということになっており、全体で49名の減少ということになります。年々30～40人ぐらい減っていて、ここ3年間で120人ぐらい減ったと思います。</p> <p>最初ですので、今年度の扶桑町の教育委員会の方針ということで、資料1をご覧ください。(資料を基に教育方針について説明)</p> <p>学校教育についてです。(資料を基に説明)</p> <p>生涯学習についてです。(資料を基に説明)</p> <p>報告・連絡についてです。(資料を基に説明)</p> <p>今年は教育委員会の教育大綱の見直しの年です。大きく変更はしないつもりですが、今後も今のように早いスピードで変わっていく社会情勢の中で、一体何が教育に必要なのかというのを、文科省等から教育振興計画等が出ているので、それをベースにして、町長部局が考えていきます。教育委員として、意見を述べる場はありますので、ご意見をお願いいたします。</p> <p>最後、話題です。(資料を基に説明)</p> <p>何かご意見ご質問等ございますか。</p> <p>今、お話しされた内容について、考えておきたいと思う視点として1点お願いします。探究型の学習にも繋がっていくことだと思うのですが、基本方針を示していただいた資料について、「新たに小学校低学年においては、「読む・書く・聴く」を中心とした基礎学習を通して、学びに向かう姿勢の基礎定着に取り組む」の部分、本当に大事なことだと思います。低学年の3年間で9年間の義務教育の一番スタートであり、そこで学びに向かう姿勢が育まれていくことで、不登校の課題にも繋がっていくし、探究学習のことにも繋がっていくし、ひいては生き方にも繋がっていく大事な3年間だなのを改めて思って、今日ずっと伺っていました。その中で、従来やってきたことから想像するのは、繰り返し練習し、個人差がある中で人の前で読めるようにするとか、それを強制的にやらせるような学びも行われていたことがかつては多かったです。でも、そうではなくて、学びに向かうときの「学ぶって楽しいな」や「わくわくするな」などの気持ちの中から、自ら学びたい、やってみたい、もっと知りたいというように育まれていく低学年の時間であるといいなと思います。そのためには、子どもが中学年・高学年・中学生になっていったときに、探究学習を維持できるだけの教師力をそれぞれの教員が身につけていないと、かつて総合的な学習の時間が一斉に全国導入されたときに、何をやっていいかわからない、教科書が示されていないと、子供たちとの時間をどのように育んでいったらいいかわから</p>
----------------------	---

指導主事 教育委員	<p>ない、という右往左往する状態の一部なつたと聞いたことがあります。それぞれの授業者がやっと自由に自分たちが考えた学びを子供たちと一緒に提供できるという「わくわくできる教師集団・教師力を持った存在」になってほしいなと思います。なので、この基本方針に書かれていることと、先ほどお話ししていただいた「教育が目指すところ」というのはまさに繋がっている話題だと思いました。</p> <p>その他、何かございますか。</p> <p>PTA 活動の見直しに着手するということで、学校の意識もかなり変わっているということですね。</p>
教育長 教育委員	<p>はい。校長会でも話しています。</p> <p>報道等でも、PTA に関して増えているように感じます。また、報道の内容が批判的であり、全員加入のことと会計のことの二つが特に挙がっていると感じます。中には総会をもうやらない学校が増えていると聞いたのですが、扶桑はそのような流れはありますか。</p>
教育長 教育委員	<p>総会をやらない学校はありません。</p> <p>学校のことで PTA が担ってきた部分がかかなりあると思うので、そういう点について考えていかななくてはいけないですね。</p>

3 連絡事項

発言者	発言内容の要旨
指導主事	それでは、3. 連絡事項にうつります。(1) 行事予定表についてお願いいたします。
教育課長	学校教育について、お願いします。(別紙について説明)
生涯学習課主幹	生涯学習について、お願いします。(別紙について説明)
指導主事	行事予定について何かご質問等ございますか。
教育委員	ありません。

4 その他

発言者	発言の要旨
指導主事	それでは、4. その他に移ります。(1) 各小中学校の補助教材決定の報告について、お願いいたします。
指導主事	各学校の補助教材を一覧にまとめた資料をご覧ください。
指導主事	こちらの件で、何かご意見ご質問等ございますか。
教育委員	金額の差があるのはなぜですか。
指導主事	学校によっては、AI ドリルの導入に向けて補助教材の見直しをしている学校もあるかと思います。
教育委員	補助教材の捉えとして、こちらの資料に載せるものを改めて確認した方がいいと思います。テストは載せるのか、図工や理科の実験、生活科等で使うものを載せるのかなど、確認をお願いします。

指導主事	承知いたしました。
指導主事	その他、ございますか。ないようですので、4月定例教育委員会を閉じたいと思います。ありがとうございました。